

利根川砂防通信 榛名山麓の巨石積み堰堤(デ・レイケ堰堤) を職員が調査しました

第1号 令和8年4月28日

- 榛名山麓には明治15（1882）～17（1884）年頃に施工された巨石積み堰堤が20基以上現存しています。
- これらはオランダ人技師デ・レイケの指導を受けて内務省が施工したものです。
- 内務省の石井土木局長（明治10年 初代土木局長に就任）は利根川における砂防の必要性を認識していたという記述が、デ・レイケと彼の恩師エッシャーとの手紙に残っているようです（上林好之（2003））。
- 利根川改修工事の一環として実施された榛名山砂防事業は明治14年度に開始され、明治36年度に砂防設備は内務省から群馬県へ移管されました。

